

令和元年度第1回学校評価結果のお知らせ

保護者の皆様には、お忙しい中7月に実施しました「学校評価アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

梅津北小学校が学校教育目標の実現に向けて、特に大事にしたいことに絞ってアンケートをとり、保護者・児童（低学年、高学年）・教職員の3者を比較できるようにしました。継続すべきところ、改善すべきところを明らかにして、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

アンケートの方法

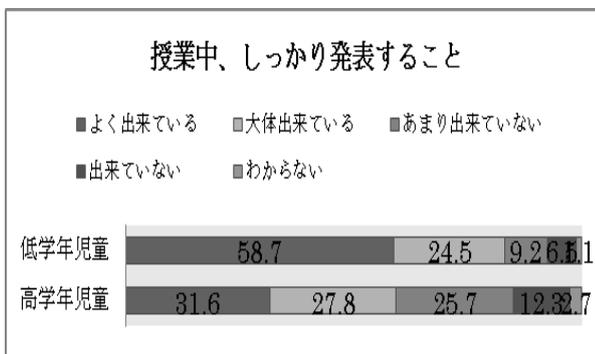
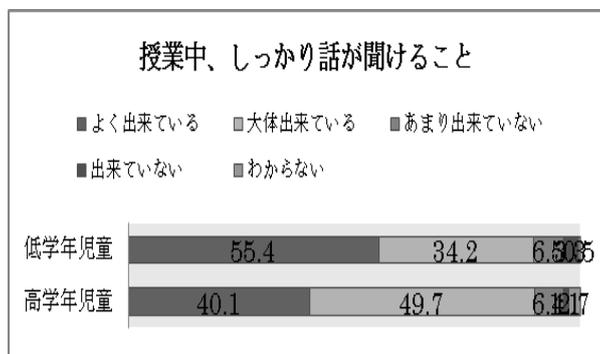
アンケートの項目を、【確かな学力】【豊かな心・健やかな体】【学校・家庭・地域の連携】のグループに分け、それぞれの項目について「重要度－実現度」を尋ねる形式にしました。この二つを相互に関連させたとき、重要度・実現度がともに高い項目は比較的肯定的なご意見が多く、重要度が高く実現度が低い項目は本校の課題とみることができます。

アンケート結果より

- ※実現度についてグラフ化しています。
- ※（ ）は、児童用アンケートの文言です。
- ※全項目は掲載できませんので、ご了承ください。

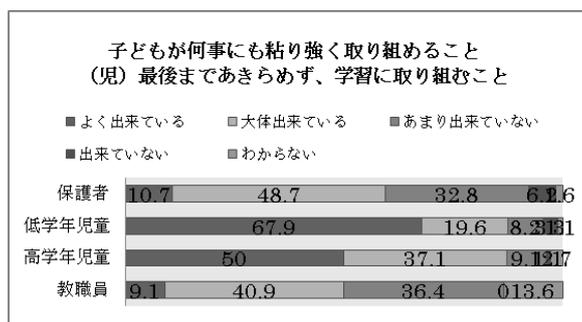


【確かな学力】



◆『授業中、しっかり話が聞けること』では、低学年児童・高学年児童とも80%以上が「よく出来ている・大体出来ている」と答えています。先生や友だちの話を、しっかり相手の目を見たり、高学年では自分の考えと比べたりして聞いています。その姿勢が、「学習がよく分かること」につながります。

一方◆『授業中、しっかり発表すること』は、低学年児童では80%以上のが「よく出来ている・大体出来ている」と答えているのに対して、高学年児童では60%未満となっています。今年度、梅津中学校ブロックの3校（梅津北小・梅津小・梅津中）では、「伝える力」の育成に重点をおいて取組を進めています。『しっかり発表すること』は「伝える力」の育成に関わる項目になります。それぞれの学年でめざす子どもの姿を明確にしながら、指導を進めているところですので、第2回のアンケートの数値の変容を確認したいと思います。



◆『子どもが何事にも粘り強く取り組めること』は、約90%の児童が、「よく出来ている・大体出来ている」と答えています。教職員・保護者は50～60%が「よく出来ている・大体出来ている」と答えています。児童の自由記述欄にも「さいごまであきらめず学習しています。」「あきらめずさいごまで、算数・国語をとりくむ」という内容のものがありました。子どもたちの頑張る姿を、周りの大人はしっかり認め、励ましていきたいと思ひます。

【自由記述欄より】

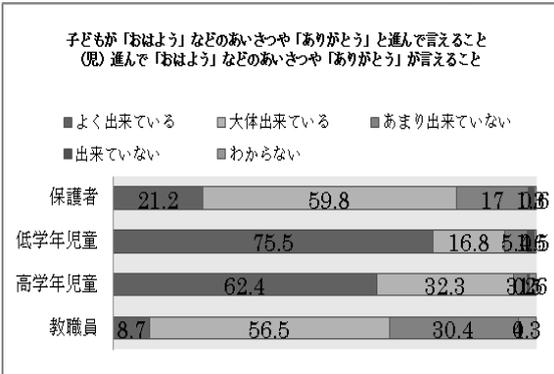


- 参観に行くとクラスみんなが、一生懸命学んでいて素晴らしいなと思います。
- 子どもが興味をもてるような指導で素晴らしいです。
- 先生によって授業のやりかたが違うなと思いました。子どもたちが少しでも楽しく学べる時間があれば、もっと勉強したい、学びたいと思えるのかなと思います。
- クラスによって「帰りの会」の進め方が違う。同じような進め方でしてほしい。

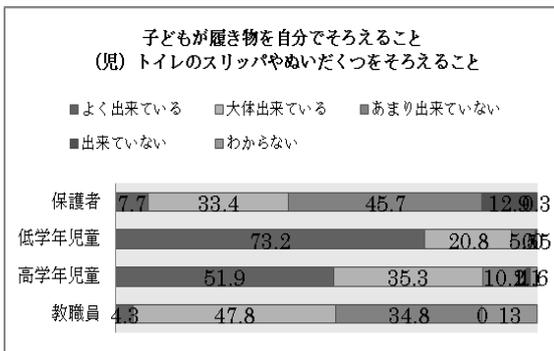
⇒「伝える力」の育成に向けて、どのように授業を進めていけばよいかを、年間を通して校内研修を行っています。教員が授業を参観し意見を出し合ったり、校外で研修してきた内容を教職員に伝達したりしています。「伝える力」は授業だけではなく、学校教育全体を通して育成したい力です。なかよし集会や運動会、学習発表会などの全校の場や、「朝の会」「終わりの会」など学級の場で、学校や学級の実態に合わせて取組を進めているところです。学校として共通で取り組む事項と学級裁量で取り組む事項を確認しながら進めています。



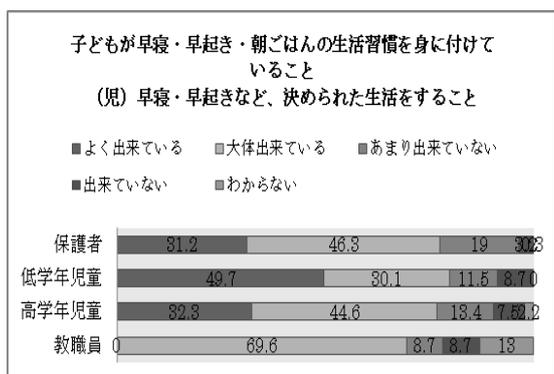
【豊かな心・健やかな体】



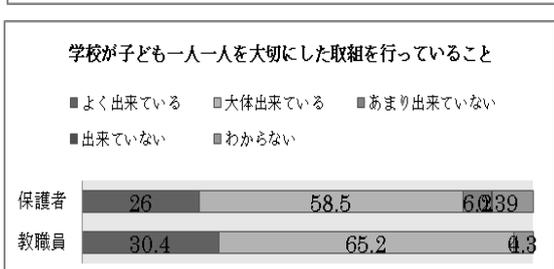
◆『子どもが「おはよう」などのあいさつや「ありがとう」と進んで言えること』で、「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は、保護者・教職員・児童とも非常に高い割合となりました。児童の自由記述欄に、「げんきよくあいさつする」「おはようございますとちゃんといえている」と書いている児童もいました。梅津中学校ブロックで「いいことばの日」に取り組んでいるあいさつ運動が、小学校・地域に定着してきているのだと思われます。



◆『子どもが履き物を自分でそろえること(トイレのスリッパやぬいだくつをそろえること)』では、児童の自由記述欄にも、「1番がんばっていることはトイレのスリッパをそろえることです。」「スリッパは常にきれいですが、きたない時は直している。」と、多くの記述がありました。意識している児童が多いことは、「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合が90%を超えていることから分かります。しかし、保護者・教職員で「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合と比べると、大きな差がありました。トイレのスリッパをそろえることは意識していても、脱いだ靴をそろえる意識は低いということです。脱いだ靴への意識、家庭でもそろえる意識を声かけしていきたいと思います。



◆『子どもが早寝・早起き・朝ごはんの習慣を身に付けていること(早寝・早起きなど、決められた生活をする)』では、「よく出来ている・大体出来ている」と答えた保護者・教職員・児童の割合はそれぞれ約70%した。決して低い割合ではありませんが、「あまり出来ていない・出来ていない」と答えている児童が5人に1人だと考えると見過ごすことはできません。体調の不良を訴える児童の中に、ゲームやスマートフォンの使用時間が長くなり、就寝時刻が遅くなったということをよく聞きます。ご家庭でも、使用のルールを今一度ご確認ください。



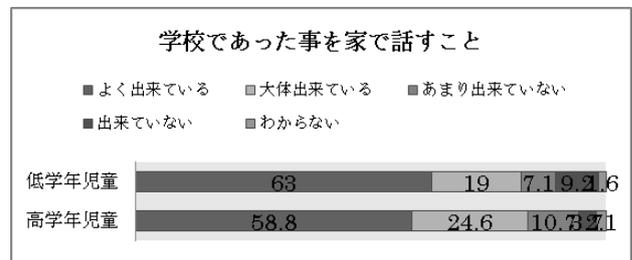
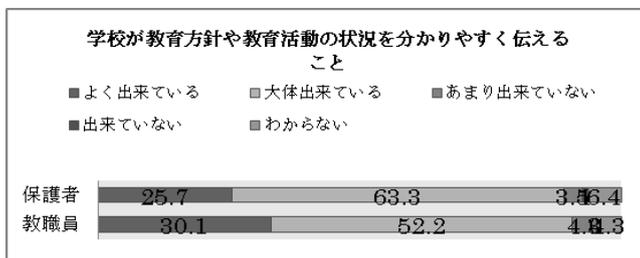
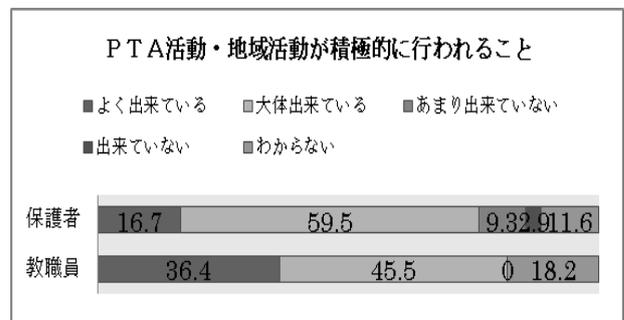
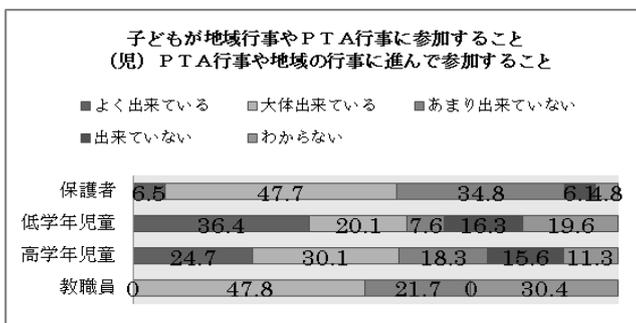
◆『学校が子ども一人一人を大切にしたい取組を行っていること』は、保護者・教職員とも「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は約90%でした。児童にはない設問でしたが、児童の自由記述欄には、「学校が楽しい」と書いている児童が、とても多かったです。一人一人を大切にしたい取組が、児童の記述につながっていると思います。

【自由記述欄より】

- 旗当番で引率している時、ボランティアの人や先生に積極的にあいさつしている子が、以前より増えた気がします。
- きちんとあいさつできる子が少ないと思います。はずかしさもあると思いますが、近所の人や学校の先生を見かければ、自らあいさつできるようになってほしいです。
- 学校に楽しく通えること、自分の身支度がきちんとできること、先生や友だちの話をよく聞くこと、姿勢を正してていねいに字が書けること・・・、改めて大切なことだと感じます。
- 学年が変わり、担任の先生も変わりましたが、個性をよくご理解いただき、本人に合った声かけ・励ましをいただけて感謝しております。本人も、先生のことをよく分かって、心を開いているので授業にも集中でき、学校を楽しんでいるので安心しています。
- 校内研修を頻繁にしておられてとても良いことだと思っています。できれば、具体的な内容が知りたいです。⇒きちんとあいさつする姿に向けての取組は、運営委員会（児童会）から、全校児童に働きかけています。あいさつの仕方について、振り返りながら取組を進めていきたいと思っています。校内研修では、【確かな学力】でも述べたように、「伝える力」の育成に向けて、どのような授業を進めていけばよいかを、年間を通して校内研修を深めています。また、児童一人一人に丁寧に関わるために、児童理解に関する研修や様々な児童に対する支援に関する研修などを行っています。



【学校・家庭・地域との連携】



◆『子どもが地域行事やPTA行事に参加すること』は、「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は、保護者・児童とも半数を超えています。児童の自由記述欄にも、来年度の地域行事を楽しみにしている内容もありました。

また、保護者・教職員のみ設問である◆『PTA活動・地域活動が積極的に行われること』については、「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は約80%と、非常に高い割合となりました。児童は行事への参加を通して、地域の方と触れ合ったり役割を担ったりすることで、自己有用感を感じ取り、それを自分の力としていきます。PTA・地域の方々には、常に子どもたちのことを考え、行事の準備・運営等していただき誠にありがとうございます。忙しい中で取組を継続していくことは容易ではないですが、児童が成長する大切な機会ですので、学校・家庭・地域と力を合わせて行っていきたいと思っています。

◆『学校が、教育方針や教育活動の状況を分かりやすく伝えること』も、保護者・教職員のみ設問です。「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は非常に高く、90%前後となりました。児童のみ設問である◆『学校であったことを家で話すこと』は、「よく出来ている・大体出来ている」と答えた割合は80%を超え、こちらも非常に高い割合でした。学年だより・学級だよりや学校ホームページで児童の活動の様子をお知らせしていますが、その内容をご家庭で話題にいただいていることもあると思います。保護者の方から話題を出していただいたり、子どもたちの話に丁寧に耳を傾けてくださったりする環境は、大きな安心感となり、情緒面の安定につながります。これが、学習に意欲をもって向かう力になったり、困難にぶつかったときの支えとなったりします。今後も大切にしていきたいと思っています。



【自由記述欄より】

○PTA 活動には参加しているが、負担や不満に感じることが多い。活動内容も減ってはいるけど、もっと減らせ
ると思う。もう少し誰でも参加しやすい活動にすべき。

○PTA 等の活動は大切だと思うのですが、働く保護者が増えていきますので、仕事に影響が出ないような仕組
みに出来ないでしょうか。

○PTA コーラスについてですが、他学区の保護者と親睦を深めるための行事のようですが、自分たちの順番
が終了すると帰宅する方もいる中、親睦が深められているとは思いません。

⇒毎年、PTA について多くのご意見をいただきます。それだけ関心をもっていただいているのだと思いま
す。PTA 活動に関わってくださった保護者の方からは、「久しぶりに学校の文化に触れ、子どもたちの
普段の様子を見ることができ。子どもたちの困りも分かるので、PTA として子どもに関わることで、
手助けができる。」や「親が PTA として学校のために活動していることを、子どもはほこりに感じてい
る。それが、子どもの学習面などのやる気につながっている。」というご意見もいただいています。取
組や進め方など、その時のメンバーで話し合っ変えていくこともできます。その時その時に合った仕
組みを考えながら、PTA 活動を継続していきたいと思えます。

○学校だよりに写真を載せているが、白黒で顔も何もわからない。それなら載せなくてもよい。運動会の放送
機器が古くて、きちんと流れない。改善してください。

⇒学校だよりは、個人情報保護の観点から児童が特定できる写真の掲載ができません。写真のアングルや
サイズなど、見やすくなるよう工夫したいと思えます。また、子どもたちの教育環境をよりよくするた
めに、放送機器に限らず、古くなったものは処分し、新しいものを順次購入していくようにしています。

○このアンケートには、＜学校＞・＜地域＞・＜子ども＞についての項目はありますが、保護者自身のふり返り
の項目が無いのは、アンバランスな気がしました。＜子ども＞に関わる項目が、そのまま保護者のふり返りに
なるのかもしれませんが、より良い教育現場を作るという意味では、このアンケートが保護者自身も子どもと
共に成長できる機会であると思えます。

⇒毎年同じ項目でアンケートを取り続けるからこそ、気付いてくださった大切な意義であると思えます。
アンケートを通して出てきた課題について、教職員や学校運営協議会で話し合い、より良い梅津北小学
校にしていきたいと思えます。

【学校運営協議会でのご意見】

◎いくつかの学級での授業の仕方や帰りの会の進め方に興味・関心を持たれているのは、意識が高く良
いことです。

◎先生の個性もあるので、違いがあっても当然ではないだろうか。

◎『PTA』とは、本来、子どものための活動であったはずですが、保護者の都合が
優先されている気がします。PTA の活動は時代に伴って変えてゆけばよいが、本来
の活動の目的は忘れないようにしたいです。



◎学校だよりなど、紙面の文字は読みにくい場合があります。学校ホームページの閲覧数が多いので、
紙面よりホームページに詳しい情報を掲載するなど、工夫してはどうだろうか。

◎学校ホームページや学校だよりに載せる写真については、保護者以外の多数の方が
閲覧しますので、顔のアップや個人が特定されない等、京都市の基準に沿って
掲載しています。一方で、学級だよりは、配布するのが保護者の方に限るので、
子どもたちの様子や表情が伝わりやすい写真を掲載しています。



◎嵐山の野犬についてはニュースでも報道されています。校区でも、夜になると2・3匹うろついて
いるようなので、近づかないように子どもたちへの呼掛けが必要だと思えます。

◎CMでも流れていましたが、『出るだけ防犯3時4時』への協力をお願いしたいです。
学校はもちろん、地域へどのように協力を求めていくか、考えていきたいです。



いろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。いただいた全てのご意見は掲載できていません
が、ご意見・アンケート結果について、全教職員で共有しています。その中から、成果としてとらえられる
項目に関しては、今後も継続して取り組んでいき、課題としてあげられる項目については、保護者の皆様
のお声を真摯に受け止め、学校として改善につなげたいと思えます。ご協力ありがとうございました。